



北海道再生!!

— 一人に温かい道政 —

道政ニュース

高橋とおる

発行 2018年夏~秋号 No.61
高橋とおる事務所

(自宅) 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



縄文文化センターで行われたセレモニーに参加



函館市役所に掲げられた垂れ幕の前で

縄文文化遺産、世界遺産登録へ

これまで、函館市や道が中心となり、道南各地に点在している縄文文化遺産、さらに、東北三県の縄文文化遺産を合わせ、ユネスコの世界文化遺産に登録してもらうための運動を進めて参りましたが、やっと、七月一九日の文化審議会で世界文化遺産登録に推薦する候補として選定されました。

函館市南茅部地区から縄文式竪穴住居が発見され、さらに中空土偶が北海道唯一の国宝となったことにより世界文化遺産登録が現実味を帯び、道は同じく縄文遺跡が発見された青森県、岩手県、秋田県と連携し、圏域として正式に国に申請することとしましたが、北海道以外の三県の議会では既に行政と連携し超党派による「世界遺産登録推進議連」が活動を始めていた一方、道議会にはまだ推進議連が発足していませんでした。そこで、道議会にも超党派による推進議連を発足させようと、まずは、オール北海道で世界遺産登録の活動をしている「北の縄文道民会議」の会員に道議会議員全員の加盟を働きかけた結果、全員の加盟が実現、それを契機に昨年八月には「縄文文化遺産登録推進北海道議会議員連盟」が結成されました。

議連発足により、議会としても超党派の道内選出国會議員などと共に中央での総決起集会や文科省、文化庁への要請活動を活発化、地元南茅部の「北の縄文クラブ」や、遺跡発掘時から関わってこられた道の世界遺産推進室特別研究員の阿部千春氏などと共に活動を強化して参りました。

今後もライバルである奄美を中心とした自然遺産との競合やイコモス審査等のハードルがありますが、さらに活動を活発化し、実現のために全力を尽くします。

北海道議会議員 高橋 亨

第二回定例道議会報告

第二回定例道議会は六月

一九日に開会、補正予算、

「受動喫煙ゼロの実現を指す決議」、

「私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書」、

「平成三〇年度北海道最低賃金改正等に関する

意見書」が、知事の答弁は、論議を

正面から受け止める姿勢に

欠け、国会での総理

答弁にも似た「朝ご

飯論法」も随所に見

受けられるなど、一

五年間に及ぶ知事の

道政運営への対応

が、現場で直接業務

に携わる道職員のや

る気へも少なからず

影響しているものと

感じます。

喫緊の課題である

「JR北海道赤字路

線廃止問題」「TP

Pを含む国際貿易交



北海道医師会会長瀬清会長から受動喫煙防止条例制定に関する要請を受ける (6.28)

渉と北海道の一次産業への

影響」、「カジノを含むIR

誘致」、「働き方改革にお

ける教職員・医師等の時間外

勤務の縮減」などについて

も「国への支援を要請す

る」、「必要な措置を国へ求

める」、「誘致自治体と対応

する」、「時間外勤務縮減に

努力する」等々、具体的、

主体的な答弁は期待するま

でもありませんでした。

ただ、北海道農業にとつ

て多大な影響が想定される

国の「種子法廃止」について

道は、これまで、要綱で対

処するとの考えでしたが、

農業関係者からの強い要望

と私たち党派による本会議

及び予算特別委員会での質

問により「条例化」制定を検

討することとなりました。

各自自治体で行いました。

地域道政懇談会

私たち党派の政策審議会

主催による「渡島地域道政

懇談会」を七月九日・一〇日

の二日間の日程で開催し、

九日は北斗市、木古内町、

知内町、福島町、松前町、

一〇日は七飯町、鹿部町、

森町、八雲町、長万部町の

二〇一九年度 国費予算等への

提言・要望書提出

七月一日八時から衆議

院議員第一会館会議室にお

いて、道議会民主・道民連

合会派役員と地元選出の立

憲民主党・国民民主党国会

議員団との朝食会を行い、

各省庁への提言・要望に対

する意見交換を行いました。

国会議員は、逢坂衆議院

議員はじめ、立憲民主党が

衆・参の一〇名(荒井衆議

院議員はじめ、立憲民主党が

- 院議員は欠席) 国民民主党は衆・参二名の計一二名が出席し、約一時間にわたり要望内容などへのアドバイスをいただいたき、その後、七省庁へ以下の項目について要請行動を行いました。
- △内閣府・北方領土対策本部・三上審議官▽
 - 「北方領土隣接地域振興基金」の実効ある振興推進と基金の取り崩しについて要請。
 - △内閣官房・アイヌ総合政策室・蹴場参事官▽
 - 総合的なアイヌ政策推進のための法律の検討を要請。
 - △国土交通省・大臣官房鉄道担当・寺田審議官▽
 - JR北海道の運行路線見直し問題に関わる国の支援と青函トンネルの貨物との供用区間に関わる新幹線の高速化を要請。
 - △国土交通省・蝦名航空局長▽
 - 空港民営化と道内航空ネットワークの維持強化、受け入れ体制整備等について要請。
 - △総務省・大臣官房財務税務担当・稲岡審議官▽
 - 地方法人税、譲与税制度における地域偏在の是正についてなどを要請。
 - △総務省・財政制度担当・境審議官▽
 - 自治体基金への不関与、地方交付税総額に関わる国と地方の協議、増大する自治体の財政需要への一般財源確保、地方交付税に関わる人口規模・条件不利地域への配慮などを要請。
 - △農林水産省・大臣官房政策課・岡本課長(次官等は国会対策で参院)▽
 - TPP、EU・EPA、日米FTAなどの貿易交渉に関わる情報の公開、農林漁業への影響予測とそれに基づいた持続可能な対策を要請。



農林水産省 長谷水産庁長官へ要請

な対策を要請。
 △農林水産省・長谷水産庁長官▽
 ○海外漁船による無秩序操業への対処、サケ、マス、サンマ、サバ、イカ、ホタテ等の水産資源減少対策、加工業者への支援、クロマグロのTACに関わる漁業者への配慮などを要請。

△厚生労働省・蒲原事務次官▽
 ○旧優生保護法に関する実態把握への対応や速やかで公平な救済措置、内科医、産婦人科医、小児科医などの医師不足対策、少子化対策に関わる保育士の処遇改善、介護従事

中国訪問

日中友好条約締結四〇周年記念事業の一環として、日中友好北海道協議会議員協議会の中国派遣があり、副会長として五月一四日から一八日まで中国を訪問して参りました。



在中国日本大使館公使 植野篤志氏とともに

も李克強首相が首脳会談後に北海道を訪れたこともあり、今後なお一層の文化交流・スポーツなどの人的交流、相互投資や産業振興、経済交流の促進、定期航空

者確保と処遇の改善、労働者のための働き方改革、最低賃金引き上げと小規模企業経営者への支援策等を要請。
 ○その他に、地域道政懇談会で出された諸課題についても要請を行いました。

便の就航等について、有意義な意見交換を行ってききました。(詳しくはホームページ)

北方領土・択捉島訪問

北方領土ビザなし交流団の一員として六月一日～四日まで「えとぴりか」に乗り、北方領土最大の島・択捉島を訪問しました。

乗船後、色丹島・古釜布沖でロシア側係官による入域審査(入国とは言わず)が行われ、翌日、択捉島・紗那沖に停泊、そこから渡し船に乗り替えて上陸、日本人墓地での墓参、クリーク地区長との懇談、住民交流会、ホームビジットなどを経験しました。

北方領土に住む住民の所得は本土の同種の仕事に比較しておよそ三倍、年金の換算率は通常の二倍(二〇年間就労で四〇年間とみなす)の他、住居は無償で支

ジのブログ五月一九日号をご覧ください。

給、さらに国内の好きな場所にもう一件住宅を支給するなど、四島への定住化を国策として進めていました。(詳しくはホームページのブログ六月五日号をご覧ください)



択捉島 散布山(ちりっぶさん)を背景に



ロシア人形を工作

高橋とおる

2018道政を語る会を開催

高橋とおる2018道政を語る会を次のとおり開催します。
また、語る会終了後、交流会を開催しますので、ご参加をお待ちしています。

日時／2018年8月31日(金) 18:30～

場所／函館国際ホテル 函館市大手町5-10 (0138-23-5151)

会費／3,000円

主催／高橋とおる2018道政を語る会実行委員会

第2回定例会で採択された決議・意見書

- ◎受動喫煙ゼロの実現を目指す決議
- 地方自治体における消費者行政の充実・強化を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 道路の整備に関する意見書
- 下水施設の改築に係る国費支援の継続に関する意見書
- 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

(◎は政審発議、○は委員会発議)